

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る建設需要に対応した労働災害防止対策事業
レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等の検討

令和2年度報告書

令和3年3月

建設業労働災害防止協会

はじめに

厚生労働省委託事業である「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る労働災害防止対策事業」を当協会が受託し、当該事業実施項目である「レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等の検討」を行った。この検討は2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連工事での国内における事例調査を行うものである。調査内容は①引き継がれていくべき労働災害防止対策、②建築物の設計段階から、あらかじめ施工作業の危険性を低減するよう設計者が配慮すること等の我が国の先駆的な取組事例など、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例等であり、該当工事の8事業所の発注者等に対し調査を行った。

調査結果から考察したレガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策は、①発注者等による安全衛生の取組、②リスクアセスメントの実施促進等、③墜落・転落災害等の防止徹底、④より魅力ある建設現場の構築であり、これら取組を日本国内に展開していくことが重要である。

最後に、本事業の調査に協力いただいた発注者等の皆様には誠意をもってご対応いただき、厚く御礼申し上げます。また、大幢委員長をはじめ各検討会委員の皆様には本事業の運営について熱心にご検討いただいたことに対し、深く感謝申し上げます。

目 次

| | | |
|-----|----------------------------|----|
| 1 | 事業の進め方 | 1 |
| 2 | 検討会の設置 | 2 |
| 2.1 | 検討会設置要綱 | 2 |
| 2.2 | 検討会委員 | 3 |
| 2.3 | 検討会での検討経緯 | 4 |
| | (1)第1回検討会 | 4 |
| | (2)第2回検討会 | 4 |
| 3 | 発注者等に対する調査 | 5 |
| 3.1 | 調査方法 | 5 |
| 3.2 | 各調査票内容 | 6 |
| | (1)発注者向け調査票 | 6 |
| | (2)設計者向け調査票 | 12 |
| | (3)施工者向け調査票 | 18 |
| 3.3 | 調査結果 | 24 |
| 4 | レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等 | 72 |

1 事業の進め方

厚生労働省委託事業である「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る労働災害防止対策事業」を当協会が受託した。当該事業実施項目である「レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等の検討」について本報告書にとりまとめる。

この検討は2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連工事での国内における事例調査を行うものである。

当協会では本事業を遂行するにあたり、有識者による「レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等に関する検討会」を設置した。本検討会では調査内容や調査方法等について検討を行った。

調査内容は①引き継がれていくべき労働災害防止対策、②建築物の設計段階から、あらかじめ施工作業の危険性を低減するよう設計者が配慮すること等の発注者等により取り組まれた制度及び取組事例といった我が国の先駆的な取組事例などを中心に、発注者等に対し調査を実施した。

※発注者等＝発注者、設計者及び施工者

2 検討会の設置

2.1 検討会設置要綱

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る建設需要に対応した労働災害防止対策事業
レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等に関する検討会 設置概要

1 目的

令和2年度に開催を迎える予定であった2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の建設投資にあたっては、これまで各現場において様々な労働災害防止に対する問題や対応事例があることから、この実態、事例を調査し、とりまとめることにより、更なる安全対策の徹底を図るものである。

2 検討会の名称

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る建設需要に対応した労働災害防止対策事業 レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等に関する検討会

3 検討の内容

- (1)発注者等に対する事例調査方法及び調査内容の検討
- (2)報告書等内容の検討
- (3)その他事業運営に関すること

4 実施期間

令和2年4月～令和3年3月

5 実施主体

建設業労働災害防止協会

2.2 検討会委員

委員名簿

| | | |
|-------|-------|---|
| 委員長 | 大幢 勝利 | 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 研究推進・国際センター長 |
| 委員 | 日野 泰道 | 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 建設安全研究グループ 上席研究員 |
| 〃 | 吉川 直孝 | 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 建設安全研究グループ 上席研究員 |
| 〃 | 宮澤 政裕 | 建設労務安全研究会 事務局長 |
| 〃 | 大木 勇雄 | 一般社団法人日本建設躯体工事業団体連合会 会長 (一般社団法人建設産業専門団体連合会) |
| 〃 | 國井 政治 | 株式会社ナカノブー建設 安全品質環境統轄部 部長 |
| 〃 | 久保 久典 | 株式会社浅沼組 安全品質環境本部 安全部長(東京) |
| 〃 | 朝倉 泰成 | 一般社団法人全国中小建設業協会 (株式会社 朝倉組) |
| 〃 | 柴崎 博之 | 一般社団法人全国中小建設業協会 (株式会社 朝倉組) |
| 〃 | 宗像 祐司 | ミサワホーム株式会社 設計建設推進部 安全教育課 参事 (全国低層住宅労務安全協議会) |
| 厚生労働省 | 猿渡 敬 | 労働基準局安全課建設安全対策室 技術審査官 |
| 〃 | 小川 沙織 | 労働基準局安全課建設安全対策室 指導係長 |

(順不同・敬称略)

2.3 検討会での検討経緯

(1)第1回検討会

実施日：令和2年6月12日(金)

実施形態：資料送付による書面会議形式で約1週間の検討期間を設け、意見を募った

検討内容：発注者等に対する調査の方法及び内容の検討

検討結果：①発注者等に対する調査の方法

・新型コロナウイルス感染症の影響によりヒアリング調査が難しいため、書面による方法とした。新型コロナウイルスの感染状況が良い方向へ向かえば直接ヒアリングによる調査を行うこととする。

②調査内容について

・調査票の内容についての主な意見

「設計段階や施工段階において、BIM/CIMを使用したかどうか、使用していれば、BIM/CIMを使用して安全衛生に寄与したと思われる事例を挙げてほしい」

「設計段階や施工段階において、リスクを低減させるため、考慮する必要があるハザードやリスクのチェックリスト表のようなものを作成していたかどうか」

「施工段階で作業の危険性を低減するための採用された工法や要となった部分について。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例)」

「基本設計、実施設計等の各段階において、発注者及び設計者を含めて、デザインレビュー会議等を開催していたかどうか。開催していれば、想定されるハザードやリスクを低減するようにデザインレビューにて考慮していたかどうか。」

「発注者等への調査となっているが、今後、ほかの建設工事現場においても活用されるには専門工事業者への調査も必要ではないか」

各委員の意見をとりまとめ、委員長及び厚生労働省の確認後、第2回の検討会で再度各委員の確認を求めることとした。

(2)第2回検討会

実施日：令和2年8月12日(水)

実施形態：資料送付による書面会議形式で約1週間の検討期間を設け、意見を募った

検討内容：調査内容の確認、中間報告書内容の確認

検討結果：内容の大きな変更は行わず、質問の仕方をわかりやすく変更した。

発注者向け、設計者向け、施工者向けの3種類のアンケートを作成した。内容は3.2調査票に記載。

3 発注者等に対する調査

3.1 調査方法

検討会で内容を決定した調査票を用い、該当工事である下表発注者等から調査数の8事業所を選択し、調査を行った。当初はヒアリング予定であったが、新型コロナウイルス感染対策として、メールや郵送による書面調査とした。)調査用紙は調査先に合わせ、発注者向け、設計者向け、施工者向けの3種類を用意した。

| 会場名 | 発注者 | 工期 | 建設種別 | 競技/種別 |
|-----------------------------|--------------------------------|--------------------------|--------------|--|
| 1 新国立競技場 (オリンピックスタジアム) | (独) 日本スポーツ振興センター | H28.10.5~R1.11.30 | 恒久施設 | 【オリンピック】開会式/閉会式、陸上競技、サッカー 【パラリンピック】開会式/閉会式、陸上競技 |
| 2 皇居外苑 | (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 | R2.2~R2.7 | 仮設施設 | 【オリンピック】陸上競技(競歩) |
| 3 有明アリーナ | 東京都 | H29.1.30~R1.12.9 | 恒久施設 | 【オリンピック】バレーボール(インドア) 【パラリンピック】車椅子バスケットボール |
| 4 有明体操競技場 | (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 | H29.11.15~R1.10 | 仮設施設 | 【オリンピック】体操 【パラリンピック】ボッチャ |
| 5 有明アーバンスポーツパーク | (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 | H31.4~R1.9 R1.12~R2.6 | 仮設施設 | 【オリンピック】自転車競技(BMXフリースタイル、BMXレーシング)、スケートボード |
| 6 有明テニスの森 | 東京都 | H29.10.5~R2.3.18 | 既存施設(改修工事あり) | 【オリンピック】テニス 【パラリンピック】車いすテニス |
| 7 お台場海浜公園 | (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 | R1.12~R2.6 | 仮設施設 | 【オリンピック】トライアスロン、水泳(マラソン10km) 【パラリンピック】トライアスロン |
| 8 潮風公園 | (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 | R1.12~R2.6 | 仮設施設 | 【オリンピック】バレーボール(ビーチバレーボール) |
| 9 大井ホッケー競技場 | 東京都 | H30.1.5~R1.6.27 | 恒久施設 | 【オリンピック】ホッケー |
| 10 海の森クロスカントリーコース | (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 | R1.5~R1.7 R1.11~R2.5 | 仮設施設 | 【オリンピック】馬術(総合馬術:クロスカントリー) |
| 11 海の森水上競技場 | 東京都 | H28.7.29~R1.5.31 | 恒久施設 | 【オリンピック】ボート、カヌー(スプリント) 【パラリンピック】カヌー、ボート |
| 12 カヌー・スラローム会場 | 東京都 | H29.6.8~R1.12.17 | 恒久施設 | 【オリンピック】カヌー(スラローム) |
| 13 夢の島公園アーチェリー場 | 東京都 | H28.8.15~H29.3.31 | 恒久施設 | 【オリンピック】アーチェリー 【パラリンピック】アーチェリー |
| 14 オリンピックアクアティクスセンター | 東京都 | H28.10.1~R2.2.28 | 恒久施設 | 【オリンピック】水泳(競泳、飛込、アートをティックスイミング) 【パラリンピック】水泳 |
| 15 陸上自衛隊朝霞訓練場 | (公財) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 | H31.2~R2.3 | 仮設施設 | 【オリンピック】射撃 【パラリンピック】射撃 |
| 16 選手村(晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業) | 特定建築者 三井不動産レジデンシャル(株) 他10社 | H29.1.18~R1.12.31 | 恒久及び仮設施設 | |

3.2 各調査票内容

(1)発注者向け調査票

厚生労働省委託事業

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る建設需要に対応した労働災害防止対策事業
レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策の検討 事例調査(発注者)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の一つのレガシー(引き継がれていく有益な遺産)として施設工事における先駆的な労働災害防止対策について調査しています。つきましては、貴社の発注された施設工事についてお伺いいたします。ご記入いただいた内容及び添付いただいた資料は報告書にまとめ、公開することがございます。非公開希望の内容がありましたらその旨ご記入ください。

工事概要 ※工事概要書を添付してください。工事概要書が添付できない場合は以下にご記入ください。

| | |
|------|--------------|
| 工事名称 | |
| 工事場所 | |
| 発注者 | |
| 施工会社 | |
| 工期 | 年 月 日～ 年 月 日 |

1. 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。

はい ・ いいえ

「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。

2. 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIM を使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。

はい ・ いいえ

「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。

3. 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性がありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。

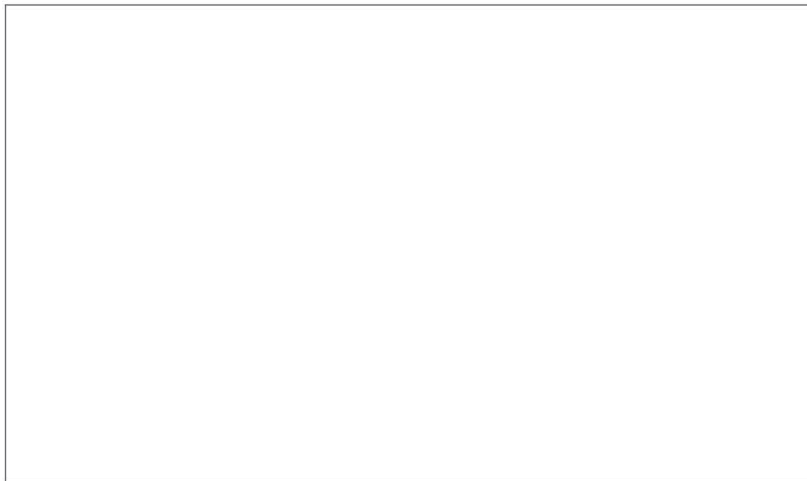
はい ・ いいえ

「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。

4. 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI (Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？
さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？



5. 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えることで、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。



6. 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例)

| |
|----------------------------|
| 内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 |
| |

7. 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。

| |
|---|
| はい ・ いいえ |
| 「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 |
| |

8. 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。

| | |
|---|----------|
| 8-1 女性に対する取組 | はい ・ いいえ |
| 「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 | |
| | |
| 8-2 若者に対する取組 | はい ・ いいえ |
| 「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 | |
| | |

9. その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。

10. 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。

11. オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。

| | | | |
|------------|--|--------|---|
| 記入日 | 年 | 月 | 日 |
| 会社住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX 番号 | |
| 会社名 | | | |
| 部署 | | 担当者名 | |
| 担当者メールアドレス | 内容につきましてお尋ねすることがありますので、メールアドレスのご記入をお願いします。 | | |

※ご協力ありがとうございました。

2. 設計段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIM を使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。

はい ・ いいえ

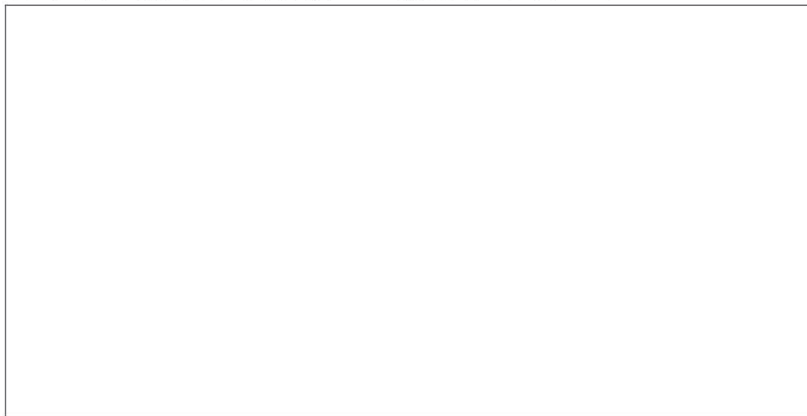
「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。

3. 設計者から見て、発注者に設計段階で考慮するよう指示して欲しかった施工時の危険性がありますか？あった場合は、考慮するよう指示して欲しかった危険性を教えてください。

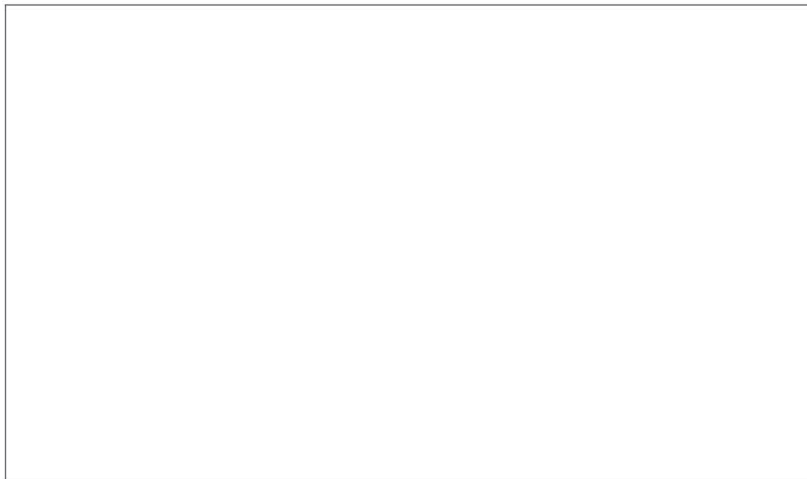
はい ・ いいえ

「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。

4. 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI (Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？
さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？



5. 設計者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えることで、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。



6. 設計段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例)

| |
|----------------------------|
| 内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 |
| |

7. 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。

| |
|---|
| はい ・ いいえ |
| 「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 |
| |

8. 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。

| | |
|---|----------|
| 8-1 女性に対する取組 | はい ・ いいえ |
| 「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 | |
| | |
| 8-2 若者に対する取組 | はい ・ いいえ |
| 「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 | |
| | |

9. その他、設計者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。

10. 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。設計者としてのご意見をお聞かせください。

11. オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。

| | | | |
|------------|--|--------|---|
| 記入日 | 年 | 月 | 日 |
| 会社住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX 番号 | |
| 会社名 | | | |
| 部署 | | 担当者名 | |
| 担当者メールアドレス | 内容につきましてお尋ねすることがありますので、メールアドレスのご記入をお願いします。 | | |

※ご協力ありがとうございました。

2. 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIM を使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。

はい ・ いいえ

「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。

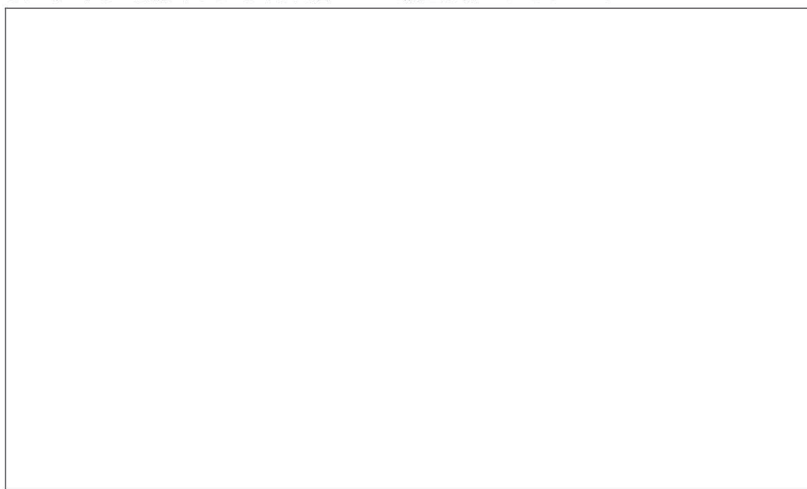
3. 施工者から見て、発注者又は設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった危険性がありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。

はい ・ いいえ

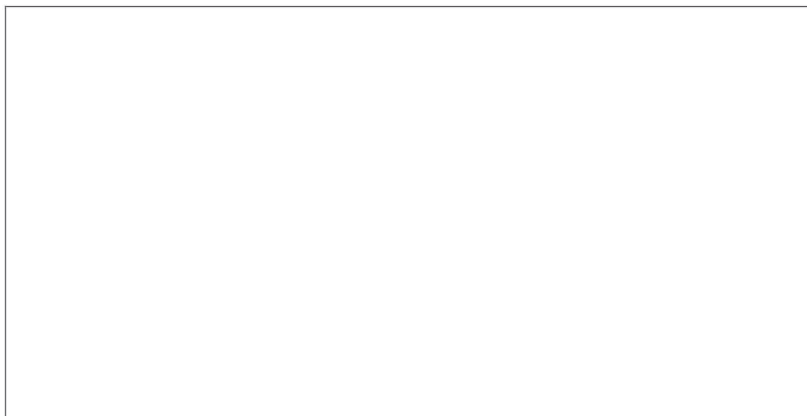
「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。

4. 施工者から見て、設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、施工段階において、発注者と施工者は、工事の安全衛生についてどのくらいの頻度で会議や連絡を取っていましたか？

さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？



5. 施工者から見て、発注者等が、設計段階から危険性の除去又は低減を考えることで、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。



6. 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例)

| |
|----------------------------|
| 内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 |
| |

7. 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。

| |
|---|
| はい ・ いいえ |
| 「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 |
| |

8. 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。

| | |
|---|----------|
| 8-1 女性に対する取組 | はい ・ いいえ |
| 「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 | |
| | |
| 8-2 若者に対する取組 | はい ・ いいえ |
| 「はい」を選択されましたら内容をご記入ください。資料があれば添付してください。 | |
| | |

9. その他、施工者から見て、この現場ならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。

10. 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。施工者としてのご意見をお聞かせください。

11. オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わったの所感をお聞かせください。

| | | | |
|------------|--|--------|---|
| 記入日 | 年 | 月 | 日 |
| 会社住所 | 〒 | | |
| 電話番号 | | FAX 番号 | |
| 会社名 | | | |
| 部署 | | 担当者名 | |
| 担当者メールアドレス | 内容につきましてお尋ねすることがありますので、メールアドレスのご記入をお願いします。 | | |

※ご協力ありがとうございました。

3.3 調査結果

下表の全8事業所(4発注者)に対し、調査を行い、得られた結果は以下の通りである。なお、まず初めに発注者等に対し調査を行った。次に設計者及び施工者にも調査を試みようとしたが、多くの発注者から、設計者と施工者に確認、相談のうえで回答した内容であり、設計者及び施工者の意見も網羅しているとのことであったので、設計者及び施工者への調査は行わないこととした。

表 調査先一覧

| 会場名 | 工事名 | 発注者 |
|-------------------------------|--|-------------------------------|
| 1 新国立競技場 (オリンピックスタジアム) | 新国立競技場整備事業 | (独)日本スポーツ振興センター |
| 2 有明アリーナ | 有明アリーナ(仮称)(27)新築工事 | 東京都 |
| 3 有明テニスの森 | 有明テニスの森公園及び有明コロシアム(29)改築及び改修その他工事 他 | 東京都 |
| 4 潮風公園 | 東京オリンピック・パラリンピック仮設オーバーレイ整備業務(その16)潮風公園 | (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 |
| 5 海の森クロスカントリーコース | 東京オリンピック・パラリンピック競技大会仮設オーバーレイ整備業務(その2)海の森クロスカントリーコース | (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 |
| 6 カヌー・スラローム会場 | 6-1 葛西カヌー・スラローム会場ポンプ設備工事 6-2 葛西カヌー・スラローム会場ろ過施設新築工事 6-3 葛西カヌー・スラローム会場ろ過設備工事 6-4 葛西カヌー・スラローム会場管理棟サッシュホカ工事 6-5 葛西カヌー・スラローム会場管理棟新築工事(その2) 6-6 葛西カヌー・スラローム会場管理棟新築工事に伴うエレベーター工事 6-7 葛西カヌー・スラローム会場管理棟新築工事に伴う給排水衛生設備工事 6-8 葛西カヌー・スラローム会場管理棟他1棟新築工事に伴う空調・換気設備工事(その2) 6-9 葛西カヌー・スラローム会場管理棟他1棟新築工事に伴う電気設備工事(その2) 6-10 葛西カヌー・スラローム会場整備工事 6-11 葛西カヌー・スラローム会場電気設備工事(その2) 6-12 葛西カヌー・スラローム会場電気設備工事(その3)その2 6-13 葛西カヌー・スラローム会場電気設備工事 6-14 葛西カヌー・スラローム会場舗装工事 | 東京都 |
| 7 オリンピックアクアティクスセンター | オリンピックアクアティクスセンター(仮称)(27)新築工事 | 東京都 |
| 8 選手村(晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業) | 選手村仕様新設工事および選手村仕様解体工事 (仮称)晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業5-3街区建築物工事 (仮称)晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業5-4街区建築物工事 (仮称)晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業5-5街区板状棟建築物工事 (仮称)晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業5-6街区板状棟建築物工事 | 特定建築者 三井不動産レジデンシャル(株)他 10社 |

①新国立競技場

工事名称:新国立競技場整備事業

工事場所:東京都新宿区霞ヶ丘町 10-1

発注者:独立行政法人日本スポーツ振興センター

設計者:大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所共同企業体

施工者:大成建設株式会社東京支店

工期:2016年12月1日～2019年11月30日(準備期間を除く本工事期間)

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒はい 国立競技場整備事業においては「設計・施工一括方式」が採用され、設計段階から工事施工業務(施工技術検討)の知見を活用して、施工時の作業性・安全性(労働災害リスクの除去や削減)に配慮された工法提案などが施工サイドからなされ、それらの意見を積極的に取り入れながら実施設計が進められた。 なお、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の大会施設工事における安全衛生対策の基本方針」に則り、安全を損なうことがないよう十分配慮した工期設定と、施工時の安全対策に必要な経費が適正に計上されているかなど、受注者へのヒアリングにて確認を行った。 |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒はい 設計段階において「意思伝達の迅速化、作図の効率化」を図るため、2D では作図が困難な形状をモデルで図面化を行うとともに、その属性情報を図面化し不整合のチェックも行い、またVRを活用しての設計内容の可視化も図ったとのことでした。 施工段階においては「生産性及び安全品質の向上」をはかるため、3D施工ステップやVRを用いて、各種施工計画の検討と工事関係者への周知を行い、また、プレコンストラクションを用いて、各部材の詳細納まりの検討や、施工手順の確認を行ったとのことでした。 |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、EOI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？ さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 本事業は「設計・施工一括発注方式」を採用している。 1 期事業契約(基本設計・実施設計業務・施工技術検討業務)において、発注者としては設計者や施工者を交えた定例会議や各専門分科会を定期的開催し、要求水準や公募条件に基づき、事業者が検討している工事工程や施工計画において、特に施工時に難易度の高い作業について適切な工程の設定や危険性の高い作業についての安全性の検証など、適切な作業内容となっているかについて確認を行い、適宜見直し作業を行いながら、三者関係者間の意思疎通を図りました。 |

| | | |
|---|---|---|
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 設計段階から施工時の安全衛生を考慮した各種工法等を採用することは、現場作業における危険性の除去、または低減に大きく寄与すると考えます。設計段階において安全衛生対策を考慮した設計図を作成することにより、施工段階における過度な安全衛生管理が不要となり、現場管理業務の充実と合理化につながるメリットがあるかと思われます。 |
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | <p>施工段階において下記工法を採用</p> <p>1.屋根鉄骨の仮設支保工 ～ 支保工組立・解体を効率化し高所作業を低減スタンド屋根ユニット鉄骨の組立に際し、ユニット鉄骨を支持するために使用される仮設支保工にタワークレーンの支柱を活用した大型支保工を開発</p> <p>※P28資料No.1</p> |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | <p>⇒はい</p> <p>設計段階において下記工法を採用</p> <p>1.大屋根のユニット化 ～ 高所作業における危険性の低減 屋根鉄骨を3分割し、地上にて組立(点検歩廊や照明ユニットなども取付)、積重 ※P28資料No.2</p> <p>2.スタジアム躯体のプレキャスト化 ～ 現場作業の効率化による危険性の低減 基礎、スタンド床版、外周SRC 柱(SRC)等 ※P29資料No.3</p> <p>施工段階において実物大モックアップを作成</p> <p>1.大屋根ユニット ～ 高所作業における危険性の低減 実物大の屋根鉄骨部分のモックアップを、地上にて組立、作業手順など確認 ※P29資料No.4</p> |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | <p>女性に対する取組 ⇒はい</p> <p>女性活躍推進活動に伴う、施工者の女性従業員による「神宮小町」の活動を通じ、女性目線での職場環境の改善(例：パウダールームの設置等)や、小学校高学年・中学生・高校生の女性を対象とした日建連主催の「リコチャレ」を当現場で開催(2018.8.27)し、女性や若者への広報活動に取り組んでいた。</p> <p>若者に対する取組 ⇒はい</p> <p>施工者の活動として、作業員の方々の「いきいきと働く姿」の写真をパネル化し、現場内に掲示するとともに、それらの写真を本人や家族に進呈する取組(「THE・職人表彰」)、及び資格取得に対する支援、若手の育成を目的とした若手リーダー表彰など、働く仲間と未来を担う若者達にとってやりがいを持てる取り組みを積極的に行っていた。</p> |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | <p>都市部の限られた敷地内において、大規模なスタジアムを期日までに完成させるという使命を持った工事であり、周辺環境等に配慮しながら、ピーク時においては1日2,800名を超える建設作業員の方々が安全かつ働きやすい快適な職場環境をつくるのが重要な課題だったかと思えます。そのため、現場においては元請け事業者の安全衛生に対する積極的な取り組みにより、着工前から仮施設設計画を工夫し、日々の労務計画などを把握しながら、全工期に亘って同レベルの快適な職場環境を維持し提供できるように、予め施工時期ごとの安全衛生対策を綿密に行い、さらに、職長会等を通じて、現場で働く作業員の生の声や意見などを積極的に取り入れ、適宜、当初の計画内容を見直ししながら安全対策に取り組んでいた。</p> <p>(例：快適な作業員休憩所、看護師常駐の健康相談室、健康相談窓口、熱中症予防、メンタルヘルス対策など)</p> |

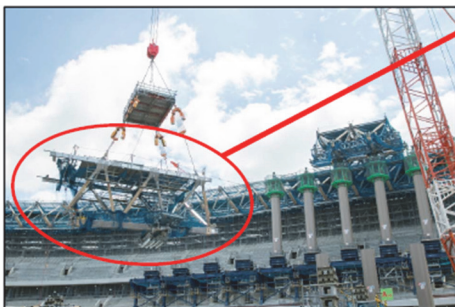
| | | |
|----|---|---|
| 10 | <p>今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。</p> | <p>これまでの取り組みを更に具現化し「労働災害の防止」に発注者・請負者ともに積極的に取り組むことが必要かと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働災害0を目標とした働きやすい職場環境の確保 ・危険要因を排除、低減した工法の採用 ・作業員の健康状況に配慮した、快適で安全な職場環境の整備 ・職場での安全教育とともに一人一人の安全に対する啓蒙活動が積極的に行われる職場環境の整備 |
| 11 | <p>オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わった所の所感をお聞かせください。</p> | <p>「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」のメインスタジアムとなる新国立競技場の整備において、①アスリート第一、②世界最高のユニバーサルデザイン、③周辺環境との調和や日本らしさを基本理念とし、オリンピック・パラリンピック大会に確実に完成させるという使命を持って行われた事業であった。整備期間が限られていることから、設計・施工を一貫して行う公募型プロポーザル方式(設計交渉・施工タイプ)による公募が行われ、設計開始から約4年間という期間においてスタジアムが見事に完成した。この大規模プロジェクトに参画された全ての方々に感謝するとともに、来年夏に延期された「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」が無事開催され、国内はもとより世界中の方々にスタジアムのすばらしさを体感いただき、感動を与えられる場となることを確信しています。なお、大会終了後においてもレガシーとなるこの競技場を将来に渡って「広く愛されるスタジアム」として適切な維持管理を行ってまいります。</p> |

作業の危険性を低減 「屋根鉄骨の仮設支保工」

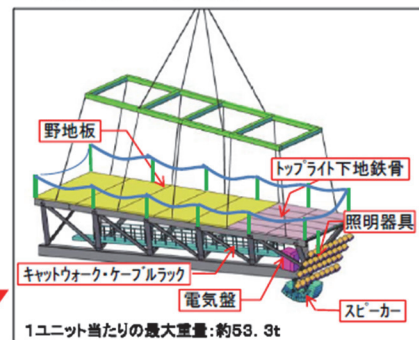


タワークレーン支柱を使用した仮設支保工

墜落・転落災害等の防止 「大屋根のユニット化」



■屋根部材ユニット化計画図



資料 No.3 躯体 PC

墜落・転落災害等の防止 「スタジアム躯体のプレキャスト化」



基礎



床版受レイカー梁



床版



外周SRC柱

資料 No.4 大屋根モックアップ

墜落・転落災害等の防止 「大屋根ユニット 実物大モックアップ」



実物大モックアップを地上にて組立、作業手順を確認

②有明アリーナ

工事名称:有明アリーナ(仮称)(27)新築工事

工事場所:東京都江東区有明一丁目11番

発注者:東京都

設計者:竹中・東光・朝日・高砂異業種特定建設共同企業体(DB方式)

(基本設計・工事監理:株式会社久米設計)

施工者:竹中・東光・朝日・高砂異業種特定建設共同企業体(DB方式)

工期:2016年3月3日～2019年12月9日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒はい 屋根工事について、遮音天井材料を軽量鉄骨＋ボードからALC材にするなど工夫することにより、高所作業を従来工法より低減し、段階的にステンレス屋根の施工が行える設計納まりとした上で、大空間無足場施工であるトラベリング工法を実施した。その他、各部躯体のPC化を図り、現場作業を減らし、作業の平準化と高所作業の削減を図った。また、第三者災害防止のため、建設現場内外の歩行者などの一般者動線と工事車両動線が分離する仮設計画を検討し、施工時に反映した。 |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる事例をご記入ください。 | ⇒はい BIMを使用することにより仮想の施工シミュレーションが可能である。施工シミュレーションにより、施工時の危険性の有無、作業の困難性などを事前に把握、検証できるため、予め危険性を排除して安全性を確保でき、安全衛生面に寄与した。 |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 設計段階での総合定例会や各工種分科会において、発注者、設計者、監理業務者及び施工者が合同で開催し、安全性の確保、施工課題等の検討、各工種間の総合調整を実施した。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いませんか？ご意見をお聞かせください。 | 設計段階から現場作業の危険性を低減する検討をすることで施工時の安全衛生は向上すると考える。 |

| | | |
|----|---|--|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 施工段階でのリスクアセスメントとして、作業毎に危険予知ミーティングを行い、リスクアセスメント手法を用いた安全管理を日常的に実施した。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 高所で従事する作業員はフルハーネス型安全帯を使用することに取り組んだ。屋根工事については、足場上での高所作業を低減するよう、トラベリング工法を採用し、仮設構台上で施工することで、高所作業範囲を低減させた。また、搬出入用のゲートが都道に面していたため、工事車両の出入口付近に交通整理員を配置し、歩行者等最優先の誘導を行った。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒はい 女性専用のトイレ、更衣室等を設置し、労働環境の向上に取り組んだ。また、パウダールームやタイルカーペットの種類を本人たちに選定してもらうなど女性に意見を積極的に取り入れた環境を目指した。その他、女性更衣室には不審者の侵入防止のため、入口に防犯カメラを設置した。 若者に対する取組 ⇒はい 機械・工具を扱う作業において、経験の浅い作業員を中心に安全衛生教育を徹底し、災害防止に努めた。 |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | IOC,IF,国内外メディアなど多様な建設現場の視察が施工時に多くあり、都度の視察ルートの安全区画の設置や視察当日の施工箇所の変更等、安全管理、工程管理の面で苦慮した。また、作業員の入退場に関して静脈認証や手荷物検査を実施することで、部外者の侵入を防止した。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 設計段階から建設現場の労働災害防止の検討を行うフロントローディングは、労働災害防止対策として有効であると考えている。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 世界的に注目される建設現場のため、安全衛生管理のほか、工期厳守の工程管理、セキュリティ対策、環境配慮型資材の使用、アクセシビリティ対応など多岐に渡り実施した。建物用途に対して、最適な施設整備を推進することは、他施設と同様だが、オリンピック・パラリンピック競技大会というひとつの明確な目的が存在することで、現場関係者が共通認識を持ちやすくなり、現場の一体感が増したのではないかとと思われる。 |

③有明テニスの森

工事名称: 有明テニスの森公園及び有明コロシアム(29)改築及び改修その他工事 他

工事場所: 東京都江東区有明二丁目2番22号

発注者: 東京都

設計者: (株)環境デザイン研究所

施工者: 関東・菊池・小沢建設共同企業体 他

工期: 2017年10月5日～ 2020年3月18日(敷地内全工事)

| | | |
|---|--|--|
| 1 | <p>発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。</p> | <p>⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計時に工事中の建物別の工事内容を考慮し、施工段階ごとの総合仮設について検討した。特に地域住民の方からの要望であった工事現場敷地内を縦断する地域住民用の通路(以下、「シンボルロード」という。)について、フラットパネルの仮囲いで明確に分離し、第三者の安全が確保されるよう配慮した。また、工事用車両出入口について、設計協議の際に、あわせて地元の警察とも協議を行った。 ・有明コロシアムの屋根の鉄骨塗装改修を実施するための吊り足場等、特殊な仮設については、設計段階より検討した。 ・また、第三者災害防止のため、建設現場内外の歩行者、公園利用者などの一般者動線と工事車両動線が分離する仮設計画を検討し、施工時に反映した。 |
| 2 | <p>設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。</p> | <p>⇒いいえ</p> |
| 3 | <p>発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。</p> | <p>⇒いいえ</p> |
| 4 | <p>設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？</p> <p>さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・設計段階において設計者を含めて会議、連絡調整を図り、施工時に想定される危険性を低減する計画とした。 ・特別な工法は採用しておらず、設計した内容で工事段階での危険はなく、安全に施工できると判断した。 |
| 5 | <p>発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・設計段階から現場作業の危険性を低減する検討をすることで施工時の安全衛生は向上すると考える。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | <ul style="list-style-type: none"> ・有明コロシアムの屋根の鉄骨塗装改修について、施工段階において吊り足場の施工方法を低い高さ(20～30センチ程度)で実験的に実施し、作業手順の確認、安全性の検証を行った。 ・クラブハウス・インドアコートの木造トラスについて、施工段階において、モックアップを現場で作り、施工性や納まりの検証を行うとともに、安全性の検討も行った。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | <p>⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高所作業を減らすため、鉄骨工事やPC工事等において、地組作業を可能な限り採用した。 ・足場設置・解体時の安全性確保のため、東京都の基準である手摺先行工法を採用した。 ・足場の組立、鉄骨工事、屋根工事等高所で従事する作業員はフルハーネス型安全帯を使用することに取り組んだ。 ・一般の方が使用するシンボルロードについては、工事内容により、警備員を配置するなど第三者の安全が確保されるよう配慮した。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | <p>女性に対する取組</p> <p>⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性専用のトイレ、更衣室等を設置し、労働環境の向上に取り組んだ。 <p>若者に対する取組</p> <p>⇒いいえ</p> |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・IOC,IF,国内外メディアなど多様な建設現場の視察が施工時に多くあり、都度の視察ルートの安全区画の設置や視察当日の施工箇所の変更等、安全管理、工程管理の面で苦慮した。 ・小学校の通学時間帯は、敷地への工事関係車両の出入りを禁止した。 ・シンボルロードを使用する地域住民と工事現場内を行き来する工事関係者が動線上交錯することのないように、仮設の歩道橋を工事エリア側に設けた。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・設計段階から建設現場の労働災害防止の検討を行うフロントローディングは、労働災害防止対策として有効であると考えている。 ・墜落・転落災害を減らすことが重要であると考えている。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界的に注目される建設現場のため、安全衛生管理のほか、工期厳守の工程管理、セキュリティ対策、環境配慮型資材の使用、アクセシビリティ対応など多岐に渡り実施した。 ・オリンピック・パラリンピックの競技施設ということで、工事の規模が大きく、受注者の数、日々現場で働く作業員数は非常に多かった。その中で安全に関する情報をすべての作業員等へ伝達するのは非常に難しく、事故に関してかなり懸念していたが、各受注者の日々の努力により、事故なく、無事に竣工させることが出来て非常によかったと思う。 |

④潮風公園

工事名称:東京オリンピック・パラリンピック 仮設オーバーレイ整備業務(その16)潮風公園

工事場所:東京都品川区東八潮1番地

発注者:公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

設計者:大和リース株式会社

施工者:大和リース株式会社

工期:2019年12月1日~2022年3月31日

(工事一時中止期間:2020年7月1日~2021年1月5日)

| | | |
|---|--|--|
| 1 | <p>発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。</p> | <p>⇒はい</p> <p>(設計段階)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計・施工一括方式の特長を活かし、安全性についても実施設計段階から十分に工事施工者と調整し、整合を図った計画としていただいた。 <p>(その他取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工段階となると、運営用のプレハブ・テント、観客用座席、競技スペースなどの仮設インフラ整備に加え、運営に必要な設備機器の搬入や設置など様々な工事が予定され、異なる作業が隣接して行われる。受注者に対して、様々な工事関係者が入場した際にも、事故を防止するための安全管理を統括して行っていた体制を契約時の要求水準とした。 ・事故等が発生した場合に、正確な情報を迅速に把握し、適切に対応するための連絡手順等を整備。組織委員会内の連絡体制を明確にし、報告書式を作成、再発防止策の確認体制についても整備した。 ・発注者として安全パトロール体制を整備。服装・保護具、作業環境等から、施工体制等の書類を現場で直接確認した。 |
| 2 | <p>設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。</p> | <p>⇒いいえ</p> |
| 3 | <p>発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。</p> | <p>⇒いいえ</p> |
| 4 | <p>設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・設計者と施工者、発注者含め、週1回定例会を実施し、密に連携を取り段取りを進めていた。 ・仮設配線やセキュリティシステム、競技用設備整備の工事発注等を行う組織委員会内の他部署とも、別途、施工段取りや計画内容を出来る限り共有し進めていた。 |

| | | |
|----|---|--|
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・設計者が施工段取りや調整をある程度想定しながら設計を進めることが危険性のリスクを軽減することは可能である。 ・具体的には、公園内という特殊性上、限られたスペースでの計画になっていたため、ある程度建物の間隔を広げて施工できる部分は施工を意識し、建物同士が近い位置にならないよう計画した。 |
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | <ul style="list-style-type: none"> ・ユニットハウスの設置、セキュリティフェンスの設置、配線、競技用のフィールド・設備の整備など、それぞれの作業としては全く異なるもの整備が計画されている。それぞれの工事順序を考慮した搬入や作業工程の調整自体が、安全管理のための重要な要素となると考える。また、組織委員会の他部署が発注する工事についても、受注者と情報連携し、安全に工事が行えるよう考慮して、発注者間での工程調整等を行った。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | <p>⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、仮設スタンドや照明塔の高所作業があるため、法令に基づいた資材や仮設材などの定期点検を行い、災害防止のため作業員に危険箇所や施工内容の周知を徹底した。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | <p>女性に対しての取組</p> <p>⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性用のトイレを設置していた。 <p>若者に対しての取組</p> <p>⇒いいえ</p> |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・施工段取りは、組織委員会内の他部署の各工事担当者が会場整備局工事担当者へ報告し、施工内容等の確認・連携を取っていた。また、他部署の工事受注者は、施工前に全体施工会議に出席し施工を行った。 ・沿岸部であるため強風が吹く恐れがあったため、資材関係には飛散防止シートを被せ安全対策を実施した。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害防止のための作業員への危険箇所や施工内容の周知のような、朝礼など日々の確認を徹底して行うことが引き継がれなければいけない対策の一つだと考える。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係者が多いことから、計画内容や施工段取りを進める上で、調整内容が多く苦労する部分が多いが大会成功に向けてとてもやりがいを感じている。 |

⑤海の森クロスカントリーコース

工事名称:東京オリンピック・パラリンピック競技大会仮設オーバーレイ整備業務(その2)海の森クロスカントリーコース

工事場所:東京都江東区青海三丁目地内

発注者:公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

設計者:大和ハウス工業株式会社

施工者:大和ハウス工業株式会社

工期:2019年5月10日~2021年12月31日

(工事一時中止期間:2020年8月1日~2021年1月31日)

| | | |
|---|--|--|
| 1 | <p>発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。</p> | <p>⇒はい</p> <p>(設計段階)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計・施工一括方式の特長を活かし、安全性についても実施設計段階から十分に工事施工者と調整し、整合を図った計画としていただいた。 <p>(その他取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施工段階となると、運営用のプレハブ・テント、観客用座席、競技スペースなどの仮設インフラ整備に加え、運営に必要な設備機器の搬入や設置など様々な工事が予定され、異なる作業が隣接して行われる。受注者に対して、様々な工事関係者が入場した際にも、事故を防止するための安全管理を統括して行っていただく体制を契約時の要求水準とした。 ・事故等が発生した場合に、正確な情報を迅速に把握し、適切に対応するための連絡手順等を整備。組織委員会内の連絡体制を明確にし、報告書式を作成、再発防止策の確認体制についても整備した。 ・発注者として安全パトロール体制を整備。服装・保護具、作業環境等から、施工体制等の書類を現場で直接確認した。 |
| 2 | <p>設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。</p> | <p>⇒いいえ</p> |
| 3 | <p>発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。</p> | <p>⇒はい</p> <p>当現場では設計時点で施工担当者に意見を求め、安全な場内動線の確保に努めたが、各施設を建設する際の使用重機とその配置は考慮してほしいと考えている。</p> <p>都内の現場は敷地が狭い場合が多く、大型の重機(ラフテレンクレーン等)を使用する際は工事動線の迂回や誘導員の配置を事前に検討できた方が、危険回避につながると思われる。</p> |
| 4 | <p>設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？</p> | <p>⇒設計施工一括発注方式</p> <p>設計施工一括方式のメリットを活かし、設計段階から施工担当者を交え、安全で無理のない工法の選択、工程の確認を行った。具体的には週1回の設計定例会議に施工担当に出席してもらい、工法・工程の確認をしてもらった。</p> |

| | | |
|----|---|---|
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 設計段階から危険性の除去又は低減を考えることは、無理のない工法の選択及び工程の調整を検討することになるため、当然施工時の安全性の向上につながるかと考える。 |
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | ユニットハウスの設置、セキュリティフェンスの設置、配線、競技用のフィールド・設備の整備など、それぞれの作業としては全く異なるもの整備が計画されている。それぞれの工事順序を考慮した搬入や作業工程の調整自体が、安全管理のための重要な要素となると考える。また、組織委員会の他部署が発注する工事についても、受注者と情報連携し、安全に工事が行えるよう考慮して、発注者間での工程調整等を行った。 合わせて、当現場では従来のKY(危険予知)活動により安全管理を実施していた。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 当現場の受注者は2019年の法令改正後、すべての作業員にフルハーネス型の墜落制止器具の着用を徹底し、墜落防止に努めていた。 また、上記に係る特別教育を受注者職員及び高所作業を行う作業員全員が受講している。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒はい 女性の作業員が来場することもあるため、女性用更衣室や女性用トイレを整備していた。 若者に対する取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | テストイベント前には組織委員会の複数部署発注の工事が同時期に行われることから、連絡体制を密にするため、全体定例会議の実施や連絡体制の構築をとおして場内ルールや危険個所の周知・共有に努めた。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 外国人作業員が増加することを想定し、現場内の言語の壁をいかになくすかが課題となると思われる。 安全書類や現場に設置される注意喚起看板等の表示は多言語(日・英・中・韓)対応を速やかに行う必要があると感じた。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | オリンピックの施設整備だからといって、特別なことはあまり行っていない。 外国企業やその担当者との工事調整を通じて、日本の法整備や安全対策はとても緻密かつ厳格であり、日本の高い技術力を下支えているのもであると再認識した。 |

⑥カヌー・スラローム会場

⑥-1.工事名称:カヌー・スラローム会場ポンプ設備工事

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パンフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:(株)鶴見製作所

工期:2018年12月29日～2019年5月31日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる事例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 特になし。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 他関連工事との作業輻輳を考慮した工期設定がおこなえれば、安全衛生は向上すると思われる。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 工事安全パトロールの実施。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対しての取組 ⇒いいえ 若者に対しての取組 ⇒はい 施工現場視察実施による技術継承。 |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 施工技術・現場監督能力の確保。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 競技施設建設にあたっては、限られた期日の中で外部組織(ICF、組織委員会、オリ局等)との調整に苦慮したが、設計者・施工者・発注者が一丸となり、無事竣工させることができた。 |

⑥-2.工事名称:カヌー・スラローム会場ろ過施設新築工事

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課 オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ(株)

施工者:(株)辰

工期:2017年6月27日~2019年5月31日

| | | |
|---|--|---|
| 1 | <p>発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。</p> | <p>⇒はい</p> <p>施工段階において、工事定例会等の場で、発注者から受注者に対し工事安全対策に関する注意事項や対策事例等に関する資料を定期的に配布・説明し、安全対策の向上を促した。</p> |
| 2 | <p>設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。</p> | <p>⇒いいえ</p> |
| 3 | <p>発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。</p> | <p>⇒いいえ</p> |
| 4 | <p>設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？</p> | <p>いいえ。</p> |
| 5 | <p>発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。</p> | <p>受注者の技術力が低い場合、安全衛生に対する知識や能力も低い場合が多い。設計段階から仮設計画等の安全衛生に係わる内容をよく検討し、発注時に参考図として仮設計画図等の安全衛生に係わる資料を添付することで、安全配慮の質が一定レベルで確保でき、工事の安全性が大幅に向上すると思う。</p> |

| | | |
|----|---|--|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 発注者が現場にて工事安全パトロールを実施し、不安全箇所の指摘、是正状況の確認等を行いながら工事を進めた。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒いいえ 若者に対する取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 本工事は、建築工事に関連する電気・機械設備工事に限らず、会場全体の土木工事及びそれに関連する各種設備工事が同時進行で行われ、多くの受注者が同一敷地内で施工していたため、土木工事受注者が中心となって、現場全体の安全ルールの検討、動線計画、役割の明確化等を受注者間において協力して実施していた。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 工場の規模、内容、難易度等に見合った経験・技術力のある受注者により施工されるような契約・発注手法や建設業関連諸制度の見直し ⇒…人員の乏しい業者や、この事業に見合った現場経験の少ない技術者しか配置できない業者が工事を受注した場合、現場の隅々まで目が行き届かず、現場管理、ひいては安全対策が後手に回る恐れがあるため、適材適所な業者を受注者とするためのそもそもの工事契約・建設業の関連制度見直しが必要と考える。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 工期厳守の中、同一敷地内で多数の工事契約・工事受注者の相互調整を行いながら施工を進めるため、発注者・受注者ともに多くの労力を費やしたように感じた。 |

⑥-3.工事名称:カヌー・スラローム会場ろ過設備工事

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:(株)メタウォーター

工期:2017年7月5日~2019年5月31日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、EOI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 特になし。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 他関連工事との作業輻輳を考慮した工期設定がおこなえれば、安全衛生は向上すると思われる。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 工事安全パトロールの実施。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対しての取組 ⇒はい 女性専用トイレの設置。 |
| | | 若者に対しての取組 ⇒はい 施工現場視察実施による技術継承。 |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 施工技術・現場監督能力の確保。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 競技施設建設にあたっては、限られた期日の中で外部組織(ICF、組織委員会、オリ局等)との調整に苦慮したが、設計者・施工者・発注者が一丸となり、無事竣工させることができた。 |

⑥-4.工事名称:カヌー・スラローム会場管理棟サッシュホカ工事

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課 オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:株式会社多摩商工

工期:2018年6月22日~2019年5月31日

| | | |
|---|---|--|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒はい 施工段階において、工事定例会等の場で、発注者から受注者に対し工事安全対策に関する注意事項や対策事例等に関する資料を定期的に配布・説明し、安全対策の向上を促した。 |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、EOI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | いいえ。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 受注者の技術力が低い場合、安全衛生に対する知識や能力も低い場合が多い。設計段階から仮設計画等の安全衛生に係わる内容をよく検討し、発注時に参考図として仮設計画図等の安全衛生に係わる資料を添付することで、安全配慮の質が一定レベルで確保でき、工事の安全性が大幅に向上すると思う。 |

| | | |
|----|---|--|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 発注者が現場にて工事安全パトロールを実施し、不安全箇所の指摘、是正状況の確認等を行いながら工事を進めた。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒いいえ 若者に対する取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 本工事は、建築工事に関連する電気・機械設備工事に限らず、会場全体の土木工事及びそれに関連する各種設備工事が同時進行で行われ、多くの受注者が同一敷地内で施工していたため、土木工事受注者が中心となって、現場全体の安全ルールの検討、動線計画、役割の明確化等を受注者間において協力して実施していた。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 工事の規模、内容、難易度等に見合った経験・技術力のある受注者により施工されるような契約・発注手法や建設業関連諸制度の見直し ⇒…人員の乏しい業者や、この事業に見合った現場経験の少ない技術者しか配置できない業者が工事を受注した場合、現場の隅々まで目が行き届かず、現場管理、ひいては安全対策が後手に回る恐れがあるため、適材適所な業者を受注者とするためのそもそもの工事契約・建設業の関連制度見直しが必要と考える。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 工期厳守の中、同一敷地内で多数の工事契約・工事受注者の相互調整を行いながら施工を進めるため、発注者・受注者ともに多くの労力を費やしたように感じた。 |

⑥-5.工事名称:カヌー・スラローム会場管理棟新築工事(その2)

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:高中建設(株)

工期:2019年1月18日~2019年12月17日

| | | |
|---|---|--|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒はい 施工段階において、工事定例会等の場で、発注者から受注者に対し工事安全対策に関する注意事項や対策事例等に関する資料を定期的に配布・説明し、安全対策の向上を促した。 |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、EOI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | いいえ。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 受注者の技術力が低い場合、安全衛生に対する知識や能力も低い場合が多い。設計段階から仮設計画等の安全衛生に係わる内容をよく検討し、発注時に参考図として仮設計画図等の安全衛生に係わる資料を添付することで、安全配慮の質が一定レベルで確保でき、工事の安全性が大幅に向上すると思う。 |

| | | |
|----|---|--|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 発注者が現場にて工事安全パトロールを実施し、不安全箇所の指摘、是正状況の確認等を行いながら工事を進めた。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒いいえ 若者に対する取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 本工事は、建築工事に関連する電気・機械設備工事に限らず、会場全体の土木工事及びそれに関連する各種設備工事が同時進行で行われ、多くの受注者が同一敷地内で施工していたため、土木工事受注者が中心となって、現場全体の安全ルールの検討、動線計画、役割の明確化等を受注者間において協力して実施していた。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 工場の規模、内容、難易度等に見合った経験・技術力のある受注者により施工されるような契約・発注手法や建設業関連諸制度の見直し ⇒…人員の乏しい業者や、この事業に見合った現場経験の少ない技術者しか配置できない業者が工事を受注した場合、現場の隅々まで目が行き届かず、現場管理、ひいては安全対策が後手に回る恐れがあるため、適材適所な業者を受注者とするためのそもそもの工事契約・建設業の関連制度見直しが必要と考える。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 工期厳守の中、同一敷地内で多数の工事契約・工事受注者の相互調整を行いながら施工を進めるため、発注者・受注者ともに多くの労力を費やしたように感じた。 |

⑥-6.工事名称:カヌー・スラローム会場管理棟新築工事に伴うエレベーター工事

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:中央エレベーター工業(株)

工期:2018年2月16日~2019年12月17日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、EOI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 特になし。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 他関連工事との作業輻輳を考慮した工期設定がおこなえれば、安全衛生は向上すると思われる。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 工事安全パトロールの実施。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒いいえ |
| | | 若者に対する取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 施工技術・現場監督能力の確保。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感を聞かせください。 | 競技施設建設にあたっては、限られた期日の中で外部組織(ICF、組織委員会、オリ局等)との調整に苦慮したが、設計者・施工者・発注者が一丸となり、無事竣工させることができた。 |

⑥-7.工事名称:カヌー・スラローム会場管理棟新築工事に伴う給排水衛生設備工事

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:アイ・エス・アイ工業(株)

工期:2018年2月16日~2019年12月17日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、EOI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 特になし。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 他関連工事との作業輻輳を考慮した工期設定がおこなえれば、安全衛生は向上すると思われる。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 工事安全パトロールの実施。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒いいえ 若者に対する取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 施工技術・現場監督能力の確保。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 競技施設建設にあたっては、限られた期日の中で外部組織(ICF、組織委員会、オリ局等)との調整に苦慮したが、設計者・施工者・発注者が一丸となり、無事竣工させることができた。 |

⑥-8 工事名称:カヌー・スラローム会場管理棟他1棟新築工事に伴う空調・換気設備工事(その2)

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:アイ・エス・アイ工業(株)

工期:2018年3月30日~2019年12月17日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 特になし。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 他関連工事との作業輻輳を考慮した工期設定がおこなえれば、安全衛生は向上すると思われる。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 工事安全パトロールの実施。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒いいえ 若者に対する取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 施工技術・現場監督能力の確保。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 競技施設建設にあたっては、限られた期日の中で外部組織(ICF、組織委員会、オリ局等)との調整に苦慮したが、設計者・施工者・発注者が一丸となり、無事竣工させることができた。 |

⑥-9.工事名称:カヌー・スラローム会場管理棟他1棟新築工事に伴う電気設備工事(その2)

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:文京電気(株)

工期:2018年3月30日~2019年12月17日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、EOI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 特になし。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 他関連工事との作業輻輳を考慮した工期設定がおこなえれば、安全衛生は向上すると思われる。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 工事安全パトロールの実施。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対しての取組 ⇒いいえ |
| | | 若者に対しての取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 施工技術・現場監督能力の確保。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感を聞かせください。 | 競技施設建設にあたっては、限られた期日の中で外部組織(ICF、組織委員会、オリ局等)との調整に苦慮したが、設計者・施工者・発注者が一丸となり、無事竣工させることができた。 |

⑥-10.工事名称:カヌー・スラローム会場整備工事

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:鴻池・西武・坪井建設共同企業体

工期:2017年6月8日～2019年5月31日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | <p>発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？ または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。</p> | <p>⇒はい 工事エリアに隣接した都立公園への影響を抑えるため、施工時の安全確保として、用地境界に仮囲い(H=3m)設置した。また、工事車両搬入路を公園から離れた位置に設定した。</p> |
| 2 | <p>設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。</p> | <p>⇒いいえ</p> |
| 3 | <p>発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。</p> | <p>⇒いいえ</p> |
| 4 | <p>設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？ さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？</p> | <p>会場整備では、複数の工事が重複することから、作業性を考慮した施工ステップ図を作成し、現場での施工時期を事前に調整した。</p> |
| 5 | <p>発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。</p> | <p>設計段階での検討は必要と思うが、設計者(発注者設計担当、設計コンサルタント)がリスクを的確に把握できるか力量に差が出てくるのではないかと。</p> |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 他現場での事故事例を基に、現場の一斉点検や安全周知を行った。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒はい 受注者の現場事務所では、快適トイレとして女性専用トイレや専用休憩室を設置した。 若者に対する取組 ⇒はい 受注者側では、作業環境の改善として快適トイレの設置、空調服や製氷機設置での熱中症対策など、若手のみならず建設業のイメージアップに取り組んだ。 |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 長時間労働の縮減のため、現場全従事者(元請、下請含む)の現場入退場時刻を記録し管理した。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | これまで起こってしまった事故事例一つ一つが、今後の労働災害を防止するための貴重な教材です。現場に“安全”は存在せず、そこで働く各人がリスクを意識し行動することが“安全管理”だと思います。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 国内初の人工カヌー・スラローム競技施設の建設は、設計から施工に至るまで試行錯誤の連続でありましたが、設計者、施工者、発注者が一丸となり、素晴らしい競技施設を完成させることができました。 |

⑥-11.工事名称:カヌー・スラローム会場電気設備工事(その2)

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:(株)CTフィールドサポート

工期:2019年10月7日~2020年1月31日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 特になし。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 他関連工事との作業輻輳を考慮した工期設定がおこなえれば、安全衛生は向上すると思われる。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 工事安全パトロールの実施。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒いいえ 若者に対する取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 施工技術・現場監督能力の確保。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 競技施設建設にあたっては、限られた期日の中で外部組織(ICF、組織委員会、オリ局等)との調整に苦慮したが、設計者・施工者・発注者が一丸となり、無事竣工させることができた。 |

⑥-12.工事名称:カヌー・スラローム会場電気設備工事(その3)その2

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:(株)安川電機

工期:2019年10月1日~2020年1月31日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 特になし。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 他関連工事との作業輻輳を考慮した工期設定がおこなえれば、安全衛生は向上すると思われる。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 工事安全パトロールの実施。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対しての取組 ⇒いいえ 若者に対しての取組 ⇒はい 施工現場視察実施による技術継承。 |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 施工技術・現場監督能力の確保。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 競技施設建設にあたっては、限られた期日の中で外部組織(ICF、組織委員会、オリ局等)との調整に苦慮したが、設計者・施工者・発注者が一丸となり、無事竣工させることができた。 |

⑥-13.工事名称:カヌー・スラローム会場電気設備工事

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ株式会社

施工者:安川電機(株)

工期:2017年11月7日~2019年5月31日

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 特になし。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 他関連工事との作業輻輳を考慮した工期設定がおこなえれば、安全衛生は向上すると思われる。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 工事安全/ハローの実施。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対しての取組 ⇒いいえ 若者に対しての取組 ⇒はい 施工現場視察実施による技術継承。 |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 現場内では、複数の工事が稼働することから、発注者を含めた週1回の工程連絡会を開催し、各週各工事の予定や、安全管理情報等の共有を行った。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 施工技術・現場監督能力の確保。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 競技施設建設にあたっては、限られた期日の中で外部組織(ICF、組織委員会、オリ局等)との調整に苦慮したが、設計者・施工者・発注者が一丸となり、無事竣工させることができた。 |

⑥-14.工事名称:カヌー・スラローム会場舗装工事

工事場所:東京都江戸川区臨海町六丁目地内

発注者:東京都建設局東部公園緑地事務所工事課 オリンピック・パラリンピック会場整備事務所

設計者:パシフィックコンサルタンツ(株)

施工者:高中建設(株)

工期:2019年11月5日~2020年2月10日

| | | |
|---|---|--|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | いいえ |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 受注者の技術力が低い場合、安全衛生に対する知識や能力も低い場合が多い。設計段階から仮設計画等の安全衛生に係わる内容をよく検討し、発注時に参考図として仮設計画図等の安全衛生に係わる資料を添付することで、安全配慮の質が一定レベルで確保でき、工事の安全性が大幅に向上すると思う。 |

| | | |
|----|---|--|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | 特になし。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒いいえ |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | 女性に対する取組 ⇒いいえ |
| | | 若者に対する取組 ⇒いいえ |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 特になし。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 工場の規模、内容、難易度等に見合った経験・技術力のある受注者により施工されるような契約・発注手法や建設業関連諸制度の見直し ⇒…人員の乏しい業者や、この事業に見合った現場経験の少ない技術者しか配置できない業者が工事を受注した場合、現場の隅々まで目が行き届かず、現場管理、ひいては安全対策が後手に回る恐れがあるため、適材適所な業者を受注者とするためのそもそもの工事契約・建設業の関連制度見直しが必要と考える。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 工期厳守の中、同一敷地内で多数の工事契約・工事受注者の相互調整を行いながら施工を進めるため、発注者・受注者ともに多くの労力を費やしたように感じた。 |

⑦オリンピックアクアティクスセンター

工事名称:オリンピックアクアティクスセンター(仮称)(27)新築工事

工事場所:東京都江東区辰巳二丁目2番

発注者:東京都

設計者:基本設計:株式会社 山下設計、実施設計:大林・東光・エルゴ・東熱異業種特定建設
共同企業体

施工者:大林・東光・エルゴ・東熱異業種特定建設共同企業体

工期:2016年10月3日～2020年2月28日

| | | |
|---|---|--|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒はい ・設計段階から、大屋根(鉄骨・屋根・仕上工事)を地上で組み立ててからリフトアップ工法により所定の高さまで上げる計画としており、これにより作業性・安全性の向上が見込まれた。 ・第三者災害防止のため、建設現場内外の歩行者、公園利用者などの一般者動線と工事車両動線が分離する仮設計画を検討し、施工時に反映した。 |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒はい ・BIMを使用することにより仮想の施工シミュレーションが可能である。施工シミュレーションにより、施工時の危険性の有無、作業の困難性などを事前に把握、検証できるため、予め危険性を排除して安全性を確保でき、安全衛生面に寄与した。 |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | ・設計段階での総合定例会や各工種分科会において、発注者、設計者、監理業者及び施工者が合同で開催し、安全性の確保、施工課題等の検討を各工種間の総合調整を実施した。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | ・設計段階から現場作業の危険性を低減する検討をすることで施工時の安全衛生は向上すると考える。 |

| | | |
|----|---|---|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | <p>施工段階</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業区画・重機周囲の立入禁止区画・作業通路表示に用いるカラーコーンを色分けして表示し、危険の「見える化(可視化)」を図った。 朝礼会場や会議室にはデジタルサイネージによる掲示を行い、作業員への日々の安全周知を視認しやすくする取組を行った。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | <p>⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> 高所で従事する作業員はフルハーネス型安全帯を使用することに取り組んだ。 オーバーハングしているスタンド外装工事では、3階までを全面仮設ステージを構築し、ステージから上部の外部足場の高さ抑えた計画により高所作業を少なくする計画に基づき、リスクアセスメントに基づく作業手順書を作業員へ周知して実施した。 足場は手摺先行工法足場を採用し、より安全性の高い措置を講じた。 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | <p>女性に対する取組</p> <p>⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性専用のトイレ、更衣室等を設置し、労働環境の向上に取り組んだ。 女性技術者と技能者による意見交換会や現場パトロールを実施し、コミュニケーションの活性化と技術交流を促進した。 女性技術者、技能者の仕事ぶりやさまざまな環境改善への取組を受注者や協力会社のホームページ等の広報媒体を通じて、広く社会に向けて情報を発信した。 <p>若者に対する取組</p> <p>⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> 「教育チーム」を設け、若手への教育プログラムを策定し、本工事の工程と内容に応じた各種研修を実施した。 計画的な休日取得を推進し、適正な業務体制による超過勤務時間の縮減を図った。 若手の仕事ぶりやさまざまな環境改善への取組を受注者や協力会社のホームページ等の広報媒体を通じて、広く社会に向けて情報を発信した。 |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> IOC、IF、国内外メディアなど多様な建設現場の視察が施工時に多くあり、都度の視察ルートの安全区画の設置や視察当日の施工箇所の変更等、安全管理、工程管理の面で苦慮した。 辰巳国際水泳場の指定管理者と毎月工事説明及び協議を行い、大会参加者が多く周辺道路が混雑する大会開催時には、辰巳の森交差点に車両誘導員を配置して交通事故・公衆災害防止を図った。 タブレット端末を活用した最先端の施工管理を行うことで、現場の状況や技術資料はクラウド上のサーバに格納され、タブレット端末から現場内の無線LANを使ってアクセスでき、常に最新の情報を把握できる状況となっていた。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | <ul style="list-style-type: none"> 設計段階から建設現場の労働災害防止の検討を行うフロントローディングは、労働災害防止対策として有効であると考えている。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | <ul style="list-style-type: none"> 世界的に注目される建設現場のため、安全衛生管理のほか、工期厳守の工程管理、セキュリティ対策、環境配慮型資材の使用、アクセシビリティ対応など多岐に渡り対応することができた。また、オリンピック・パラリンピック競技大会施設として求められる機能を満足することと合わせて、都民など、利用者や管理者が使いやすい施設を実現するなど、最高の水泳場の完成に向けて、工事関係者が一丸となって取り組むことにより、工事完了を迎えることができたと考えています。 |

⑧選手村仕様新設工事および選手村仕様解体工事

工事名称:選手村仕様新設工事および選手村仕様解体工事

工事場所:東京都中央区晴海五丁目9番地 他

発注者:三井不動産レジデンシャル、エヌ・ティ・ティ都市開発、日鉄興和不動産、住友商事、住友不動産、大和ハウス工業、東急不動産、東京建物、野村不動産、三菱地所レジデンス

設計者:別紙参照

施工者:別紙参照

工期:2017年1月18日～2019年12月31日

| | | |
|---|---|--|
| 1 | 発注者等は、設計段階において、労働災害リスクを低減させるため、リスクアセスメント等を実施し、施工時に考慮する必要がある危険性を検討するような取組はありましたか？または、その他、発注者等により取り組まれた制度及び取組事例はありますか？あった場合にはその具体を教えてください。 | ⇒はい ・設計図書の作成においては、現場の施工条件を十分調査しました。躯体工事においては、PCa工法を多用することで高所・端部での作業を減らし作業員の墜落リスク低減を図るよう指導しています。 ・構造設計段階では、設計施工一括方式のメリットを活かし、詳細設計段階では専門工事業者の協力のもと、施工・製作の知見を活用して実施設計図を作成させました。 |
| 2 | 設計段階や施工段階において、BIM/CIM を使用しましたか？使用していれば、BIM/CIMを使用して施工時の安全衛生に寄与したと思われる実例をご記入ください。 | ⇒いいえ |
| 3 | 発注者から見て、設計者に設計段階で考慮しておいて欲しかった施工時の危険性はありますか？あった場合は、考慮しておいて欲しかった危険性を教えてください。 | ⇒いいえ |
| 4 | 設計段階において、発注者は設計者を含めて会議、連絡調整等を図り、施工時に想定される危険性を低減するように建築物等の設計を考えていましたか？また、設計施工一括発注方式、ECI(Early Contractor Involvement; 施工予定者技術協議方式)などの契約方式の場合ですが、設計段階から、発注者、設計者及び施工者で会議や連絡を取っていましたか？さらに、これらの会議等はどのような内容について調整を行っていましたか？ | 発注者、監理者、設計者、施工者の四者による定例会議を開催して、工事施工条件等を確認しています。 |
| 5 | 発注者から見て、設計段階から危険性の除去又は低減を考えると、施工時の安全衛生は向上すると思いますか？ご意見をお聞かせください。 | 施工条件を十分に考慮した設計とすることで、施工方法含め、事前にリスク抽出およびその対策が可能になるため、向上すると思います。 |

| | | |
|----|---|--|
| 6 | 設計段階又は施工段階で作業の危険性を除去又は低減するためにリスクアセスメント等を実施し、実際に採用された工法や要となった部分について教えてください。その場合、どの段階の採用かも合わせて教えてください。(好事例、新技術など省力化・工業化の事例) | <ul style="list-style-type: none"> ・過去の災害事例やヒヤリハットを基に各作業のリスクアセスメントを実施し、その結果を掲示することで作業員に周知しています。 ・上記リスクアセスメントの結果に作業所の特性を加味して協力業者が作成する作業手順書に取り込むことで、より具体的にリスクを把握したうえでのリスク低減活動が可能となります。 ・災害防止活動のレベルアップを図るため、最先端で働く作業員が行う危険予知活動にリスクアセスメントの手法を取り入れ、危険予測精度の向上を図っています。 ・危険予知活動で発現された危険の「可能性」と「重大性」から「評価」(リスクの大きさ)を数値化して、最重要項目について対策を立案します。また、特に危険性の大きな作業については、追加安全対策を遅れなく実施します。 ・構造設計段階では、設計施工一括方式のメリットを活かし、詳細設計段階では専門工事業者の協力のもと、施工・製作の知見を活用して実施設計図を作成させました。 |
| 7 | 建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください | ⇒はい 同上 |
| 8 | 女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築する取組はありましたか？あった場合には、その取組について教えてください。 | <p>女性に対しての取組 ⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性専用の更衣室、トイレ、シャワールーム等を設置して、快適な職場づくりを目指しています。 ・同地域で施工にあっていた元請4社にて共同で日本建設業連合会のけんせつ小町工事チームに登録をして活動を推進した結果、けんせつ小町活躍推進表彰特別賞を受賞しました。 <p>若者に対しての取組 ⇒はい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生週間や安全大会の際などに、安全衛生のレベルアップに貢献した作業員に対して表彰を行っています。 |
| 9 | その他、発注者から見て、この建設プロジェクトならではの施工時の安全衛生対策を教えてください。 | 街区をまたぎ、設計会社、施工会社が異なり、かつ同時に工事進捗を図る必要があるプロジェクトであったため、全体での定期的な情報共有を行うことで、各社の知見を持寄り、予防、解決へと導くというサイクルを形成しています。 |
| 10 | 今後の建設業における労働災害防止のために、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策とはどのようなものだと思いますか。実際に行った事例でなくても構いません。発注者としてのご意見をお聞かせください。 | 各現場における事象の原因と対策を共有し、同様の原因による労働災害を繰り返さないように継承していくことが大切であると考えます。 |
| 11 | オリンピック・パラリンピック競技大会での施設工事に携わっての所感をお聞かせください。 | 単純な開発事業ではなく、レガシーとして後世に語り継ぐ街の開発であったため、特定建築物の工事だけでなく、基盤整備や護岸整備など様々な工事が輻輳する中で、確実かつ安全に工事をすすめるという難易度の高い工事でしたが、東京都様をはじめ、多くの関係者の協力を賜りながら、ここまで進めてまいりました。引き続き、関係者各位と協業を図りながら、建物竣工を目指して参ります。 |

大会施設工事における安全衛生対策の実施状況報告

| | |
|--------|---|
| 工事の名称 | (仮称) 晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業5-3街区建築物工事 |
| 現場所在地 | 東京都中央区晴海五丁目11番地他(5-3街区内) |
| 発注者 | 特定建築者 代表会社:三井不動産レジデンシャル株式会社 他9社 |
| 受注者 | 設計者 : 日建ハウジングシステム・東急建設設計共同企業体 施工者 : 東急建設株式会社 首都圏建築支店 |
| 工期 | 2017年1月18日～2019年12月31日 |
| <工事概要> | |
| 用途規模 | 板状住宅4棟+駐車場棟 A棟:17階384戸 B棟:17階382戸 C棟:15階378戸 D棟:15階393戸 A～D棟合計:1537戸 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 住宅部部分の基礎:場所打コンクリート杭 駐車場部分の基礎:直接基礎 |
| 敷地面積 | 26,300.14㎡ |

大会施設工事における安全衛生対策の実施状況報告

| | |
|--------|---|
| 工事の名称 | (仮称) 晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業5-4街区建築物工事 |
| 現場所在地 | 東京都中央区晴海五丁目502番(5-4街区内) |
| 発注者 | 特定建築者 代表会社:三井不動産レジデンシャル株式会社 他9社 |
| 受注者 | 設計者 : 日本設計・長谷工コーポレーション設計共同企業体 施工者 : 株式会社長谷工コーポレーション |
| 工期 | 2017年1月18日～2019年12月31日 |
| <工事概要> | |
| 用途規模 | 共同住宅5棟 A棟:18階179戸 B棟14階78戸 C棟:14階78戸 D棟:18階177戸 E棟18階174戸 A～E棟 合計:688戸 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 場所打ち鋼管コンクリート杭(STBC-SRⅡ杭) |
| 敷地面積 | 23,633.2㎡ |

大会施設工事における安全衛生対策の実施状況報告

| | |
|--------|--|
| 工事の名称 | (仮称) 晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業 5-6街区板状棟建築工事 |
| 現場所在地 | 東京都中央区晴海504 (5-6街区内) |
| 発注者 | 特定建築者 代表会社:三井不動産レジデンシャル株式会社 他9社 |
| 受注者 | 設計者 : (株)日建ハウジングシステム・三井住友建設(株)一級建築士事務所 施工者 : 三井住友建設(株)東京建築支店 |
| 工期 | 2017年1月18日～2019年12月31日 |
| <工事概要> | |
| 用途規模 | 板状住宅6棟 + 駐車場棟 A棟:14階 89戸 B棟:18階 194戸 C棟:18階 217戸 D棟:14階 104戸 E棟:16階 148戸 F棟:14階 163戸 A～F棟 合計:915戸 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 住宅部部分の杭:場所打ちコンクリート杭 駐車場部分の杭:既成コンクリート杭 |
| 敷地面積 | 29,738.55㎡ |

大会施設工事における安全衛生対策の実施状況報告

| | |
|--------|--|
| 工事の名称 | (仮称) 晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業 5-5街区板状棟建築物工事 |
| 現場所在地 | 東京都中央区晴海五丁目11番地他 (5-5街区内) |
| 発注者 | 特定建築者 代表会社:三井不動産レジデンシャル株式会社 他9社 |
| 受注者 | 設計者 : 三菱地所設計・前田建設工業設計共同企業体 施工者 : 前田建設工業株式会社 東京建築支店 |
| 工期 | 2017年1月18日 ～ 2019年12月31日 |
| <工事概要> | |
| 用途規模 | 板状住宅6棟 + 駐車場棟 A棟:14階 102戸 B棟:14階 277戸 C棟:16階 236戸 D棟:14階 130戸 E棟:18階 150戸 F棟:18階 194戸 A～F棟 合計:1089戸 |
| 構造 | 鉄筋コンクリート造 住宅部部分の杭:場所打ちコンクリート杭 駐車場部分の杭:既製コンクリート杭 |
| 敷地面積 | 31,292.55㎡ |

4. レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 大会施設工事安全衛生対策協議会では、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の大会施設工事における安全衛生対策の基本方針」を掲げている。基本方針の主な事項は以下のとおりである。

- ① 発注者等による安全衛生の取組：安全衛生対策は発注・設計段階から開始。労働災害や公衆災害などの重大なリスクに対してより適切な対応を可能とする。
- ② リスクアセスメントの実施促進等：リスクアセスメントを徹底し、工法自体の選択も含めて抜本的なリスク低減策を講じ、工事従事者にはきめ細やかな安全衛生教育
- ③ 墜落・転落災害等の防止徹底：建設工事で多く発生している墜落・転落災害や公衆災害の防止への重点的な取組み
- ④ より魅力ある建設現場の構築：女性や若者が安全に安心して、やりがいを持って働ける現場を構築

これまでは施工中の労働安全衛生に対しては、施工者の果たす役割が多かったが、上記したような基本方針では、施工者だけでなく、発注者及び設計者に対してもその役割があるとした事が非常に大きい。

一方、本報告書は、厚生労働省からの委託事業として建設業労働災害防止協会が受託した令和2年度東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る建設需要に対応した労働災害防止対策事業の一環として、『レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等の検討』の報告書としてまとめたものである。今年度はスタート直後から新型コロナウイルス感染症のため、政府から緊急事態宣言が発出されたことを受けて、同感染症対策のため、対面での委員会を開催することなく、書類審査での委員会開催を余儀なくされた。

そのような中でも、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る建設プロジェクト等で得られた、レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策等の好事例を収集するため、上記の基本方針に従い事例調査票を作成し、発注者等の主要な建設プロジェクト関係者にアンケート調査を実施することができた。事例調査票は、上記したような基本方針に対して、具体的にどういった対策を実施してきたのか、今後にも活用できる事項、今後の課題となる事項等を抽出するような仕様である。本報告書では、ある程度の事例調査票を回収できており、それらの結果から「レガシーとして引き継がれていくべき労働災害防止対策」は、以下のようにまとめられる。

- ① 発注者等による安全衛生の取組：基本設計・実施設計・施工段階において、発注者として設計者や施工者を交えたミーティングを定期的で開催し、適切な工期の設定、安全性の検証等を実施し、適宜見直しを行いながら、三者関係者間の意思疎通を図る。また、安全衛生を損なうことがないように施工時の安全衛生対策に必要な経費が適正に計上されているか、発注者が施工者に対してヒアリングし確認する。
- ② リスクアセスメントの実施促進等：設計段階から施工時の安全衛生を考慮した各種工法等を採用する。BIM/CIM(Building Information Modeling or Construction Information Modeling)を用いて、設計段階において、意志伝達の迅速化、作図の効率化、不整合のチェック、VR を活

用した設計内容の可視化等を図る。また、BIM/CIM 等を用いた仮想の施工シミュレーションを実施し、施工時のリスクの有無、困難な作業等を事前に抽出し予めリスクを除去又は低減する。さらに、施工段階における施工プロセスの明確化と合理化に繋げる。

- ③ 墜落・転落災害等の防止徹底：屋根をユニット化し、地上にて組み立て、高所作業をできる限り短縮し、墜落・転落災害のリスク低減を図る。基礎、床版、柱等のプレキャスト化により、現場作業の効率化を図る。これらの取り組みは、工期の短縮のみならず、安全衛生を飛躍的に向上させる。
- ④ より魅力ある建設現場の構築：若手の育成を目的とした若手リーダー表彰、機械・工具を扱う経験の浅い作業員を中心に安全衛生教育、女性や若者の資格取得を支援、女性目線での職場環境の改善（例えば、女性専用のトイレ、更衣室、休憩室、仮眠室、パウダールームの設置等）、やりがいを持って働く姿の写真を現場内に掲示するとともに同写真を本人や家族に進呈する取り組み等を通じて、女性や若者にとって快適な環境下でやりがいを持てる取り組みを積極的に行う。

このように、施工段階からの安全衛生向上の取り組みだけでなく、発注者及び設計者による安全衛生向上の取り組みに拡大していることがわかる。これらの取り組みは、安全衛生向上はもとより、設計の高度化、施工の効率化・合理化、工期の短縮、女性や若者の建設業界への積極的な参入機会の増加にも貢献するものと考えられる。

これらの取り組みが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る特別な建設プロジェクトだけでなく、日本の建設業全体の取り組みとするべく水平展開を図っていくことが望まれる。

